

高島市長

福井正明様

独自目標監査報告書

平成 27 年 10 月 6 日

主任監査員 森山美栄子

副主任監査員 寺本 マコ

1. 監査日

平成 27 年 8 月 20 日 (木)

2. 監査対象

高島市

3. TES 監査内容

独自目標(平成 26 年度実績) 監査

- ① エコアクション (環境活動) 部門 第 1 ステージ (A109)
- ② エコマネジメント (環境経営) 部門 第 1 ステージ (B109)
- ③ エコガバナンス (環境自治) 部門 第 1 ステージ (C105)

4. 監査結果

TES 項目評価 ①A109 : ○ ②B109 : ○ ③C105 : ○

項目別達成状況				TES 項目別評価	
項目番号	内容	目標値	達成状況※1	部門 (項目番号)	評価※2
a101	電気使用量の総量	H25 年度実績より削減	○	① エコアクション部門 (A109)	—
a102	灯油購入量の総量		○		
a103	LPG 購入量の総量		○		
a104	A 重油購入量の総量		○		
a105	可燃ごみ排出量	H25 比 -8%	×		
b101	環境に関する研修開催回数	年 1 回以上	○	② エコマネジメント部門 (B109)	○
c101	公開する環境情報の回数	年 12 回以上	○	③ エコガバナンス部門 (C105)	○

※1 達成状況 : ○=達成 ×=未達成

※2 評価 : ○=良好 △=軽微だが改善すべき点あり ×=勧告に値すべき点あり

(監査項目に対する○の割合が 80%以上なら○、60~80%なら△、60%未満なら×と評価)

5. 所見

総合所見

高島市未来へ誇れる環境づくり推進委員会会議において、平成26年度高島市環境マネジメントシステムの独自目標数値について、点検・評価を行いましたので、ここに報告いたします。

1. 独自目標につきましては、昨年度同様に職員の方々が省エネルギーの意識を高く持って取り組まれていると思われ、ほぼ達成されています事をご報告いたします。広報誌等により市民にもある程度周知ができていることから、市全体に広がることを期待しています。
2. ごみ量の削減については昨年度を上回るごみ量が排出されていました。原因は様々考えられますが、一定の限界に達したことで微増となったと思われ。職員ひとりひとりが、ストレスとまらない範囲で意識を持つことが必要になってくるかと思いません。

(監督員総評)

独自目標の平成26年度の結果について点検、評価を行いました。

職員、職場の環境マネジメントの取り組みはすでに定着しています。数値では表せない職員の職場での取り組み姿勢や努力を評価します。

これ以上の目標数値の削減は、市民サービスの低下、ならびに職員のストレスにつながりかねないかと思われ、必要性を感じません。

但し、ごみ減量については微増となったことから、ストレスとまらない範囲で意識を持つことが必要と感じました。

ごみ減量、再利用など市の職場では徹底されていますが、市民の削減意識が高いとは思えず、高島市の取り組み、環境マネジメントシステムを知っている市民はほんのわずかにすぎません。

市の施設のみならず、市全体に広がるような施策が必要であることから、新たな取り組みが必要であると考えます。

そのためには、このような素晴らしい取り組みを多くの市民に知ってもらうため、積極的に情報を発信していけば良いと思います。企業や団体、市民が環境マネジメントを活用し、市と市民が協働で取り組んでいける体制の構築をしていくことができれば、さらなる成果があげられると考えられます。